



エントランスと前庭を内側から見る。鋳物製門扉とレンガの色合いがシックな印象。植栽スペースの土の表面を砂土で覆って、よりきれいに見せている。

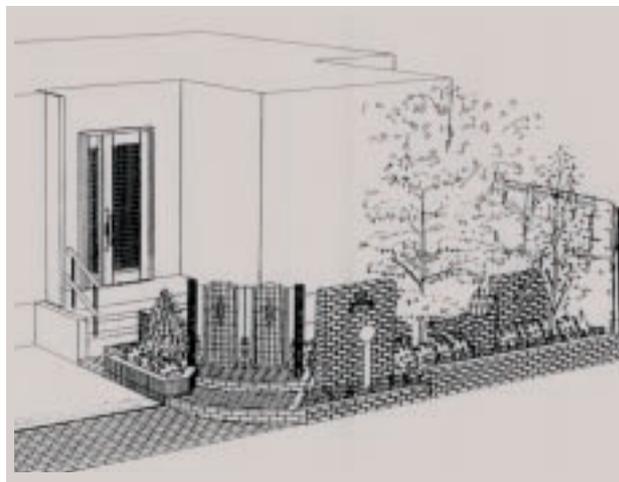


宮城県名取市 S様邸  
落ち着いた中にも開放感が感じられるセミオープンスタイルのエクステリア。建物の雰囲気にもマッチしている。



代表取締役  
大宮健治氏

営業  
大宮由博氏



## 開放感やおしゃれ心を感じさせるセミオープンスタイル

S様邸は、北側と東側の2方向が道路に面した角地にあります。ファサードは北側で車2台分の駐車スペース、玄関アプローチ、前庭という構成です。「駐車スペースはオープンスタイルに」という要望のため、玄関アプローチと前庭も、門扉と花壇とを組み合わせ合わせたシンプルなセミオープンプランにして調和を図りました。そして、門まわりを少し斜めに振り、アールをつけたステップを設けて、リズムカルなアクセントをつけています。

また、駐車スペースと玄関の境界には手すりを設けましたが、これは安全性だけでなく、デザインとしても効果的な役割を果たしています。花壇は、建物の一部に取り入れられたレンガ調タイルと調和するよう、レンガ仕上げとしました。そして、

シンメトリーにシンボルツリーを配し、低い位置にはツツジを植え込み、中央に花台をつくって、表情豊かな植栽シーンを演出。落ちついた雰囲気の中にも開放感やおしゃれ心を感じさせるエクステリアを表現しました。

### ●営業の考え方

わが社は、ひとりで営業からプランニング、現場監理までこなすマルチタイプの人材が揃っているのも、施主様の要望を正確に設計に反映でき、仕上がりまでのプロセスも非常にスムーズです。このような体制が提携しているハウスメーカーの信頼につながり、現在、年間約600棟の受注をこなしています。昨今、お客様の要望は、安いコストでなおかつ見栄えのよいもの...と、ますます



厳しくなっていますが、それに應えるのもプロの仕事。植栽まで含めたトータルプランニングの中で、コストをかける部分と抑える部分を調整するなど、工夫を凝らして要望を実現しています。また、リフォーム需要も増え、エクステリアはますます多様化しています。そこで、提案力、設計力、施工力をさらに磨き、お客様の満足度の高いエクステリアに取り組んでまいります。